

2009年3月期 通期決算 FAQ

Q1:今年度の業績見通しはどうか？

A1: 今年度の半導体売上高は前年度比約12%減の4,600億円を見込んでおります。これは、中国市場向けなど一部製品では受注の回復が見られるなど、前年度第4四半期(1-3月期)で底を打ち上向きつつあるものの、半導体の本格的な市況回復にはまだ時間を要するとの見込みによるものです。損益面では、前年度比900億円の固定費削減を行い、営業黒字化を目標としております。また、税引前損益は75億円の損失、当期純損益は90億円の損失を見込んでおります。なお、今年度の業績見通しにあたっては、1USドル95円、1ユーロ125円を前提としております

Q2:半導体売上高見込み(前年度比12%)を分野別に分けるとどうか？

A2: 今年度は、全ての分野で減収を見込んでおりますが、ブルーレイ・ディスク向けを中心に画像処理用LSI(EMMAシリーズ)や、携帯電話向けカメラLSIなどの製品は売上成長を見込んでおります。一方、自動車向け半導体においては、自動車業界の厳しさが依然続くものと想定し、前年度比で大幅な減収を見込んでおります。

Q3:今年度の900億円の固定費削減施策の内訳は？

A3:まず、体質改善施策によるコスト効率化として、設備関連費用やその他生産固定費の効率化、研究開発費の削減などで約800億円削減いたします。さらに、緊急施策によるコスト削減として、従業員の給与カットやあらゆる経費の抑制を実施することにより約100億円削減いたします。

Q4:売上が想定を下回った場合などにおいて、今年度の営業利益黒字化達成のために、さらなる追加施策を検討しているか？

A4:今年度はすでに900億円の固定費削減を行う予定であることから、さらなる追加削減を行うのが厳しい状況ではありますが、営業利益の黒字化という大きな目標に向けて、追加の固定費削減を含むあらゆる手段を検討してまいります。

Q5:ルネサス テクノロジ(以下、ルネサス)との経営統合に向け、追加のリストラ施策を行うのか？

A5:現時点において、ルネサスとの統合に向け、追加のリストラ施策を行う予定はありません。ルネサスとの経営統合に関しましては、4月27日に発表いたしましたとおり、7月の最終合意に向けて協議を進めております。今年度については、まず、両社がそれぞれ決定済みの構造改革を着実に進めることにより、個々の経営体質の改善につとめます。

以上